



令和8年度 第1回東毛地区人権教育指導者研修会

【演題】 令和時代のネットリテラシーと人権を考える

【講師】 メディアと人権研究所MAYUMEDIA代表
渡辺 真由子 氏



①実践発表

- ・館林市人権教育推進会議
長谷川 孝 氏
- ・館林市教育部 生涯学習課
栗原 由姫乃 氏



②人権教育講演会

メディアと人権研究所MAYUMEDIA
代表 渡辺 真由子 氏

令和8年8月19日(水)、美喜仁桐生文化会館小ホールにおいて、「第1回人権教育指導者研修会」を開催しました。前半は、館林市人権教育推進会議 長谷川 孝 氏、館林市教育部 生涯学習課 栗原 由姫乃氏から、「館林市の人権教育における取り組み」について実践発表していただきました。後半は、メディアと人権研究所MAYUMEDIA代表 渡辺 真由子 氏を講師に迎え、「令和時代のネットリテラシーと人権を考える」と題した講演を実施しました。

講演では、インターネット、とりわけSNSにおける誹謗中傷やフェイク情報、生成AIの活用と課題について、人権の視点からお話いただきました。また、現代社会において不可欠なネットメディアと適切に関わるためには、ネット上の情報を過信せず、「100%信じない」という姿勢で情報を見極める力や、一度立ち止まって考える冷静な判断力が重要であることを学びました。さらに、急速に進展するデジタル技術に対応した継続的な啓発の必要性についても理解を深めることができました。参加者にとって、ネット社会における人権課題への理解を深めるとともに、情報活用に必要なリテラシーについて学ぶ有意義な研修会となりました。

【参加者の声】

○ネット暴力は、文字でも暴力になること。ネット拡散で加害者も被害者になること、さらに自身の画像を送信することは送信した人が単純に悪いわけではなく、それぞれの事情があることなど、改めて確認することができました。とても勉強になりました。

○スマホ・インターネットはなかなか使いこなせないのですが、中学生や小学生の孫がいるので、ネットの取り扱いなど注意をさせたいと思いました。

主催：東毛地区人権教育推進連絡協議会

共催：群馬県教育委員会 桐生市教育委員会